

単純には割り切れない、
「正しい日本語」と「間違っただ日本語」レビュー
書籍

●北原保雄(編著)『問題な日本語』〈シリーズ〉(2004-2011年、大修館書店)
国語学者・言語学者である北原保雄は、『明鏡国語辞典』という辞書の編纂チームを率いて、2004年に『問題な日本語』を出版し、その後、続編や関連書籍が出版された。『問題な日本語』はシリーズ3冊目までに計100万部を売り上げて、ベストセラーとなった。日常的に使われている日本語の表現がじつは間違っただ表現であるという話や、若者の言葉遣いが乱れているといった話は、テレビ等でもよく取り上げられている。北原と執筆陣は、一般的に間違っただと言われている表現も、じつはそれなりの経緯や理屈があっただ生まれてきたものである以上、単純に間違っただだと切り捨てるわけにはいかないとし、場合によっては正しい用法とも言えるのだということを、多数の事例を挙げて解説した。

本文概要

「単純には割り切れない、『正しい日本語』と『間違っただ日本語』」では、北原保雄(編著)の『問題な日本語』を取り上げ、日本人自身の関心も高い「よくある日本語の間違っただ」について紹介しています。

コラム

おかしな若者言葉、おかしなビジネス会話

見出し

担当者

1. 担当となっただ部分の概要をまとめましょう。(150字要約)



2. 興味深い点・驚いた点についてまとめましょう。



興味深い点：



驚いた点：



言葉を血肉化する「暗誦」の文化を取り戻すために



レビュー 書籍	● 齋藤孝(著)『声に出して読みたい日本語』〈シリーズ〉(2001-2004年、草思社) 齋藤孝は教育学者として、身体を鍛えることが近年の教育の中で軽んじられてきたことを批判している。齋藤の身体論は、単に筋力や柔軟性を鍛えるという意味ではなく、身体をバランスよく上手に使う技術を身につけることを重視している。齋藤は、優れた日本語の文章を暗誦し、朗読することが、心と身体を鍛える上で非常に重要であると主張しており、実際に子どもたちに暗誦・朗読を教える教室を開くなどしている。『声に出して読みたい日本語』は、暗誦や朗読に適していると齋藤が考える日本語の名文を多数収録したもので、ベストセラーとなった。
本文概要	「言葉を血肉化する『暗誦』の文化を取り戻すために」では、齋藤孝の『声に出して読みたい日本語』を取り上げ、美しい日本語を朗読・暗誦することのよさに触れ、言葉と身体の関係について考察しています。
コラム	「腹で考える」ということ

見出し

担当者

1. 担当となった部分の概要をまとめましょう。(150字要約)



2. 興味深い点・驚いた点についてまとめましょう。



興味深い点：



驚いた点：



第3課

地震と原発、そしてインターネット



レビュー
書籍

- 小出浩章 (著) 『原発のウソ』 (2011年、扶桑社)
- 中川恵一 (著) 『放射線医が語る被ばくと発がんの真実』 (2012年、KKベストセラーズ)
- 藤沢数希 (著) 『「反原発」の不都合な真実』 (2012年、新潮社)
- 東浩紀・津田大介ほか (著) 『思想地図β vol.2』 (2011年、コンテクチュアズ)

2011年東日本大震災後、さまざまなテーマで、震災に関わる書籍が出版された。

小出浩章は、原子力工学の研究者でありながら一貫して原子発電に批判的な立場をとり続けている異色の科学者で、東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故から2カ月後に出版した『原発のウソ』では、放射線の危険性等を基礎から解説し、ベストセラーとなった。震災後の日本では原子力発電の危険性を指摘する声が強いが、放射線医療によってがんの治療等に携わる中川恵一は『放射線医が語る被ばくと発がんの真実』という書籍を出版し、今回の事故では人体に危険が及ぶような放射線被害は考えられないと指摘した。また、藤沢数希は原子力の専門家ではないが、『「反原発」の不都合な真実』の中で、各種統計を精査すると、原子力発電は火力等の他の発電方法に比べて危険であるとは言えないという主張を展開した。

震災の直後には、マスメディアの報道が現実の動きに追いつかない中で、インターネットによる情報の収集・拡散が広く利用されたが、ジャーナリストの荻上チキは、インターネット上になりにたくさん「デマ」「流言」が飛び交ったことを指摘し、そのパターンを分析して『検証 東日本大震災の流言・デマ』という書籍を出版した。

本文概要

「地震と原発、そしてインターネット」では、小出浩章の『原発のウソ』、中川恵一の『放射線医が語る被ばくと発がんの真実』、藤沢数希の『「反原発」の不都合な真実』といった書籍を取り上げ、2011年3月の震災後日本で議論が高まっている原子力発電の是非について考えるとともに、震災後の混沌とした日本社会で、インターネットによる情報収集がいかに力を発揮したかに触れます。

コラム

災害時のデマと混乱

見出し

担当者

1. 担当となった部分の概要をまとめましょう。(150字要約)



2. 興味深い点・驚いた点についてまとめましょう。



興味深い点：



驚いた点：



第4課

2000年代後半のウェブ社会の変化を見通した『ウェブ進化論』



<p>レビュー 書籍</p>	<p>● 梅田望夫 (著) 『ウェブ進化論——本当の大変化はこれから始まる』 (2006年、筑摩書房)</p> <p>『ウェブ進化論』は、2006年にアメリカのシリコンバレーでコンサルティング会社を経営する梅田望夫によって、IT分野、特に web サービスの世界における最新の動向を紹介するために著された。日本に「Web2.0」「ロングテール」等の言葉を広める上でも大きく貢献した。梅田は、web サービスの充実によって、私たちの住む世界は「総表現社会」とも呼ぶべきものになり、一握りのエリートだけでなく「不特定多数無限大」の人々が協力することで新たな「知」の世界が切り開かれるだろうと主張した。</p>
<p>本文概要</p>	<p>「2000年代後半のウェブ社会の変化を見通した『ウェブ進化論』」では、「Web2.0」という言葉を日本に広めた梅田望夫の『ウェブ進化論』を取り上げ、ブログや SNS の登場など、近年のインターネット世界における著しい変化について解説します。</p>
<p>コラム</p>	<p>キュレーションの時代</p>

見出し

担当者

1. 担当となった部分の概要をまとめましょう。(150字要約)



2. 興味深い点・驚いた点についてまとめましょう。



興味深い点：



驚いた点：



第5課

日本人が好きなピーター・ドラッカーの経営学を、女子高生が読み解く



<p>レビュー 書籍</p>	<p>● 岩崎夏海 (著) 『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』 (2009年、ダイヤモンド社) 岩崎夏海は、秋元康に師事したこともある放送作家で、秋元がプロデュースしたAKB48のアシスタントプロデューサーも務めていた。2009年の暮れに『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』(通称『もしドラ』)という小説を出版し、ビジネスパーソンを中心に幅広く読まれるベストセラーとなった。『もしドラ』は、高名な経営学者で日本にもファンの多いピーター・ドラッカーの主著『マネジメント』から、組織の運営方法に関する知見を引用して、高校の野球部を率いていく女子マネージャーの活躍を描いた作品。小説のヒット後、マンガ、映画、アニメなどとしても展開され、ブームを巻き起こした。</p>
<p>本文概要</p>	<p>「日本人が好きなピーター・ドラッカーの経営学を、女子高生が読み解く」では、近年のビジネス書では最大のヒットと言っている岩崎夏海の『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』を紹介します。高校の野球部の運営に、ドラッカーの経営学を応用したらどうなるかを小説の形式で考えるというおもしろい試みです。</p>
<p>コラム</p>	<p>日本のサラリーマンとビジネス書</p>

見出し

担当者

1. 担当となった部分の概要をまとめましょう。(150字要約)



2. 興味深い点・驚いた点についてまとめましょう。



興味深い点：



驚いた点：



第6課

「心を支配するもの」と向き合う
村上春樹



<p>レビュー 書籍</p>	<p>●村上春樹 (著) 『1Q84』 <シリーズ> (2009-2010年、新潮社) 村上春樹は現代日本を代表する作家の一人で、80年代に『ノルウェイの森』が400万部以上の大ベストセラーとなって以来、数々のヒット作を生み出している。小説だけでなく、ノンフィクションや翻訳書なども手がけている。2009年に出版した『1Q84』は、新作を書き下ろすのが5年ぶりということもあって発売前から大変な話題を呼び、2010年に発売された「BOOK3」までのシリーズ3冊で合計300万部以上を売り上げている。『1Q84』は、村上の小説作品としては初めて三人称で語られる物語である点も注目された。物語には、オウム真理教をモデルとした宗教団体が登場しており、カルト宗教をはじめとする過激な思想に取り憑かれる人間の心理がテーマとなっている。</p>
<p>本文概要</p>	<p>『「心を支配するもの」と向き合う村上春樹』では、村上春樹の小説『1Q84』を取り上げ、「人の心をシステムティックに支配するイデオロギー等いかに抵抗し、主体性を維持するか」という、村上が近年重要視しているテーマについて考えます。</p>
<p>コラム</p>	<p>デタッチメント (関わりのなさ) からコミットメント (関わり) へ</p>

見出し

担当者

1. 担当となった部分の概要をまとめましょう。(150字要約)



2. 興味深い点・驚いた点についてまとめましょう。



興味深い点：



驚いた点：



第7課

自分を変えたいビジネスマンに送るメッセージ



<p>レビュー 書籍</p>	<p>● 水野敬也 (著) 『夢をかなえるゾウ』 (2007年、飛鳥新社) 水野敬也は人を笑わせる技術を定式化し、それを著して2003年に出版した『ウケる技術』がすでにベストセラーとなっていたが、2007年に出版した『夢をかなえるゾウ』は、180万部を超えるベストセラーとなり、ブームを巻き起こした。『夢をかなえるゾウ』は、平凡なサラリーマン生活に嫌気がさしてきた主人公が、インドの神様「ガネーシャ」の教えを受けながら日々地道な努力を重ね、少しずつ変わっていくという小説である。歴史上の偉大な人物のエピソードを交えて「成功する人間になるための秘訣」が語られており、ビジネスパーソン向けの自己啓発書として人気を呼んだ。</p>
<p>本文概要</p>	<p>「自分を変えたいビジネスマンに送るメッセージ」では、小説でありながらビジネス書として広く読まれた水野敬也の『夢をかなえるゾウ』を取り上げ、現状に満足しないサラリーマンが、自分のめざすべき姿へと「変わる」ために必要なものは何なのかを考えます。</p>
<p>コラム</p>	<p>自己啓発と自分探し</p>

見出し

担当者

1. 担当となった部分の概要をまとめましょう。(150字要約)



2. 興味深い点・驚いた点についてまとめましょう。



興味深い点：



驚いた点：



第8課

孤独な都会の若者への励ましの小説



レビュー
書籍

●金原ひとみ (著) 『蛇にピアス』 (2004年、集英社)
 ●綿矢りさ (著) 『蹴りたい背中』 (2003年、河出書房新社)
 金原ひとみは20歳のとき、ピアスや入れ墨による身体改造にハマる若者の過激な生活を描いた『蛇にピアス』によって、すばる文学賞と芥川賞を受賞した。この作品はその後映画化もされている。金原が芥川賞を受賞した際、同時受賞に選ばれた綿矢りさが金原よりも1歳若かったため、最年少記録は逃すこととなったが、それ以前の最年少受賞記録が23歳であったことを考えると、金原の20歳での受賞も快挙だった。綿矢りさは高校在学中に『インストール』という小説を書いてデビューし、この作品は「文藝賞」を受賞した。そして大学在学中の19歳のときに、女子高生の憂鬱な生活を描いた『蹴りたい背中』によって芥川賞を受賞 (金原ひとみとの同時受賞) し、それまでの最年少受賞記録を大幅に更新した。

本文概要

「孤独な都会の若者への励ましの小説」では、2004年に芥川賞を同時に受賞した金原ひとみの『蛇にピアス』と綿矢りさの『蹴りたい背中』を取り上げ、憂鬱な少女を主人公とする暗い小説が現代文学に台頭してきた背景を探ります。

コラム

「言葉」と「感覚」

見出し

担当者

1. 担当となった部分の概要をまとめましょう。(150字要約)



2. 興味深い点・驚いた点についてまとめましょう。



興味深い点：



驚いた点：



「正義」とは何かを哲学的に考える

レビュー
書籍

● マイケル・サンデル(著) おにぎわしのぶ 鬼澤忍(訳)『これからの「正義」の話しよう——いまを生き延びるための哲学』
(2010年、早川書房)

ハーバード大学の哲学教授であるマイケル・サンデルは、学生を巻き込んだディスカッションで道徳哲学を掘り進めている講義の様子が、NHKの『はくねつ白熱教室』という番組で放送されており、日本でも有名である。2010年にはサンデルの著書の邦訳『これからの「正義」の話しよう』が発売され、ベストセラーとなった。本書の中では、「1人を殺せば5人の命を救えるときに、その1人を殺すべきか」「同性婚は是か非か」といった、道徳的価値観に関わる問題について、古代以来の哲学の学説史を踏まえながら解説している。

本文概要

『「正義」とは何かを哲学的に考える』では、日本でも大ブームになったアメリカの哲学者マイケル・サンデルの『これからの「正義」の話しよう——いまを生き延びるための哲学』を取り上げ、人間にとって「正義」とは何か、「価値観」とは何かについて哲学的に考察します。

コラム

サンデルの政治哲学とひがし に ほんだいにしんさい東日本大震災

見出し

担当者

1. 担当となった部分の概要をまとめましょう。(150字要約)



2. 興味深い点・驚いた点についてまとめましょう。



興味深い点：



驚いた点：



第10課

貧乏で無気力な若者たち



<p>レビュー 書籍</p>	<p>●三浦展(著)『下流社会——新たな階層集団の出現』(2005年、光文社) マーケティングアナリストの三浦展は、ファッションビルを開発するパルコや、日本の代表的な調査会社である三菱総研等で、マーケティングや社会調査に携わった後、独自のマーケティング会社を設立してアナリストとして活躍。2005年に出版した『下流社会——新たな階層集団の出現』では、収入が低いばかりか、生活全体が活気に乏しい若者を「下流」と名付け、彼らの暮らしぶりや人生観を分析。そして、この「下流」に転落する若者たちが増加していることを、現代社会の大きな病理として指摘した。</p>
<p>本文概要</p>	<p>「貧乏で無気力な若者たち」では、三浦展の『下流社会——新たな階層集団の出現』を取り上げ、近年の日本では特に若者の間で経済格差が広がりつつあり、さらにはライフスタイル全般の質や、気力・意欲といったものにまで格差の拡大がみられるという現実に触れます。</p>
<p>コラム</p>	<p>格差の遺伝？</p>

見出し

担当者

1. 担当となった部分の概要をまとめましょう。(150字要約)



2. 興味深い点・驚いた点についてまとめましょう。



興味深い点：



驚いた点：



第11課

インターネット掲示板が書籍に



<p>レビュー 書籍</p>	<p>● <small>なかのひとり</small> 中野独人 (著) 『電車男』 (2003年、<small>しんしやうしゃ</small> 新潮社)</p> <p>日本のインターネットサービスを語る上で、圧倒的な規模を誇る掲示板サイト「2ちゃんねる」を外すことはできない。2003年、この2ちゃんねる内の掲示板に、ある男が現在進行中の実体験を書き込み始めた。電車の中で酔っ払いに絡まれていた女性を助けたところ、その女性からお礼にプレゼントが贈られてきて、あわよくばデートにこぎ着けられるかもしれないという。男は典型的な「オタク」で女性との恋愛経験は皆無。舞い上がりながらもどうしてよいかわからない彼＝「電車男」が、2ちゃんねるを通じてたくさんの人からアドバイスを受け、初めての恋愛に挑戦する。漫画化、ドラマ化、映画化もされた、インターネット発の大ベストセラー。</p>
<p>本文概要</p>	<p>「インターネット掲示板が書籍に」では、「2ちゃんねる」という日本の巨大インターネット掲示板から実話として生まれた恋愛小説『電車男』を取り上げ、日本のオタク文化、インターネット文化について紹介します。</p>
<p>コラム</p>	<p>日本最大の掲示板、2ちゃんねる</p>

見出し

担当者

1. 担当となった部分の概要をまとめましょう。(150字要約)



2. 興味深い点・驚いた点についてまとめましょう。

 興味深い点：

 驚いた点：



本文概要

「日本人と読書——教養の崩壊と復活」では、特定のベストセラー書籍についてではなく、読書に関する統計データなどを取り上げながら、日本人にとっての「読書」というもののあり方と、読書を通じて得られる「教養」の価値について考えます。

コラム

電子書籍の現状と未来

見出し

担当者

1. 担当となった部分の概要をまとめましょう。(150字要約)



2. 興味深い点・驚いた点についてまとめましょう。



興味深い点：



驚いた点：